



AUSTRALIAN EMBASSY TOKYO

2009年11月14日

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）－さらなる前進

サイモン・クリーン貿易大臣は、オバマ大統領とロン・カーク米国通商代表が TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に参加する意向を示したことを歓迎した。

この米国の声明によって、オーストラリア、ブルネイ、チリ、ニュージーランド、ペルー、シンガポールが参加している TPP 交渉において更なる前進が期待される。

オーストラリアは来年初頭に予定されている第一回目の TPP 交渉会合の議長国を務める。

クリーン貿易大臣は、「交渉参加国、8カ国すべてが、それぞれ質の高い FTA を締結しています。TPP の加盟国構成によって、近代的な 21 世紀型貿易協定を導くために必要とされるものが明らかになるでしょう。我々が目指すことは、同じ原則を分かち国々へと協定を拡大していくことです。」と述べた。

「この米国の声明は、アジア太平洋地域に対する米国の意思表示として非常に意義深いものです。重要なことは、この声明が TPP の取り組みを更に前進させるために必要不可欠であるということです」。

「TPP は、FTAAP(アジア太平洋 FTA)に向けた土台となる高いレベルの包括的貿易の枠組みとなるでしょう」。

「TPP 交渉は、APEC の目的や WTO の多国間システムの両方を支持する方向で進められるでしょう。TPP はドーハラウンド締結に代替するのではなく、ドーハラウンドの締結を補完するものだからです」。

また TPP は、ビジネスの需要に応え、発展と持続性を促す役割を果たすことが期待される。

国境内規制障壁の議論は優先課題になる。また、サービスや貿易・投資促進といった分野にも新たに踏み込んで話し合うことが期待される。この中には、グリーンテクノロジーやデジタル経済といった新技術や新しく台頭する経済分野も含まれる。

オーストラリア政府は、**TPP** 交渉を前進させるため、2008 年 10 月に行われた当初の **TPP** 関係者との話し合いを基に更あらゆる関係者と貿易関連の課題についての重点的な話し合いを行う予定。